

2023年8月24日

コロナ感染症対策ガイドライン廃止に伴う新たな健康対策方針について

(公社)日本パワーリフティング協会
会 長 古 城 資 久

本年5月8日よりスポーツ庁政策課事務連絡「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更に伴う業種別ガイドラインの廃止及び位置付けの変更に際しての事業者の取組への支援について（依頼）」により、新型コロナウイルス感染症は5類感染症に位置付けられ、その結果、当協会が作成した新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインは同日をもって廃止されることとなりました。

今後の感染症対策等、新たな健康対策については、個人や事業者の主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねられることが基本となることが示されたことから、当協会として新たな健康対策の基本方針を下記のとおりとし、今後の全国大会等の運営指針の参考に資することとしました。

記

日本パワーリフティング協会の新たな健康対策の基本方針について

1. 発熱者および体調に問題がある選手は大会に出場辞退を検討すること。
37.5°Cを超える発熱や、体調がすぐれない個人については、他者や自身の健康を害するリスクがあることから競技会出場を見合わせることを検討すること。
2. 骨折等怪我をしている選手は出場の辞退を検討すること。
パワーリフティング競技は限界重量に挑戦するスポーツであることから、ご自身の骨格や筋肉などに痛みや違和感を感じている場合においては、競技会前に医療機関を受診し、医師に出場可否の判断を仰ぐよう心掛けること。
3. 過度の減量をして大会に臨まないこと。
パワーリフティング競技はボクシングと同様の階級制スポーツであることから、1週間で5%以上の減量を行なうなどの急激な減量は、突然死などの原因となることが報告されています。減量の心身へのリスク、安全性について選手個人が十分に理解した上で、急激な減量を避けるなど、最も自分に適した減量法を選択すること。
4. 禁煙を推奨すること。
大会会場となる施設は喫煙場所がないなど、禁煙を推奨している公共施設が多いことから、選手のみならず役員や観客セコンド会場来場者（セコンド・観客含む）全ての人へ禁煙を推奨すること。